

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立豊島病院

住所：〒173-0015 東京都板橋区栄町 33-1

TEL：03-5375-1234

HP：<http://www.tmhp.jp/toshima/>



リハビリテーション科医師(2022年11月現在)

責任者：部長・専門医・指導医 中島英樹 (防衛医大 S63 卒)

総病床数：438, リハ科病床：1, 診療科：29

理学療法士：9名(常勤9)

作業療法士4名(常勤3、常用パート1)

言語聴覚士3名(常勤2、常用パート1) (常用パートは週4日勤務者の人数)



責任者からのコメント

最近、患者も高齢化しており(80才台、90才台は珍しくありません)、内科的、骨関節的な併存疾患を多く持っています。そのような方に外科的治療も行われています。高齢者は「廃用」の影響をうけやすいので、早期からのリハビリテーションが必要です。患者さんの全身状態、その患者の併存疾患、入院前のADL状況等チェックしながら、いかに廃用を起こさず、身体活動を効果的にあげていくにはどうしたらよいか?を考え、治療するのは、「急性期リハビリテーション」の醍醐味でもあります。

研修病院としての特徴

- 当院では、「救急医療」、「脳血管疾患医療」、「がん医療」の3つを重点医療とした急性期総合病院であり、様々な疾患に対する急性期からのリハビリテーション(以下リハ)を行っている。
- 重点医療の一つである「脳血管疾患」に対しては、当院はSCU病棟を有しており、脳神経外科、神経内科と密接な連携をとりつつ、急性期からADL向上に向けて積極的なリハを行っている。
- 「がん」のリハに関しては、70歳以上の高齢者ががん手術予定患者(外科)に対し、「術前」からのリハ介入も行っている。また「緩和ケア」入院患者のリハ依頼もあり、状況に応じたリハ介入を行っている。
- 外来通院でも理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施。痙縮に対するボツリヌス治療、長期にフォローが必要な高次脳機能障害に対する対応も行っている。
- 東京都区西北部の地域リハビリテーション支援センターにも指定されており、地域リハに携わる関連職種レベルアップ、医療・福祉間の効果的連携に向けての支援を行う目的で、医師会、行政、地域のリハ専門職・介護職と連携をとりながら、相談事業、研修会・講演会等の実施、事例検討会の開催、連携会議の開催・参加等を行っている。また高次脳機能障害支援普及事業も東京都から委託を受け実施している。